

10<sup>th</sup>  
YEAR  
ANNIVERSARY



2007-2016



# 富山市科学博物館友の会 設立 10 周年記念誌

## CONTENTS

設立 10 周年を迎えて	1
富山市科学博物館友の会 会長 牧野弥一	
10 年に感謝の思いを寄せて	2
富山市科学博物館 館長 宮本博行	
富山市科学博物館と友の会のあゆみ	3
特集・座談会 友の会の設立から現在までと今後の 10 年	4
友の会事業のご案内	7
活動の記録 2007-2016	9
入会のご案内	14

## 設立 10 周年を迎えて

富山市科学博物館友の会

会長 牧野 弥一



富山市科学博物館友の会は今年で設立 10 周年を迎えました。博物館の設立は 1979 年（昭和 54 年）ですから、館の歴史から言えば比較的新しいと言ってもよいでしょう。科学博物館は科学文化センター時代も含めて、自然科学に対する理解や関心を持つ人を育ててきましたが、どちらかと言えば博物館の持っているコンテンツ、つまり知識等の蓄積を市民が享受するという形でした。しかし、平成になって「協力会」ができてからは、市民も博物館の事業に積極的に協力していく体制ができるようになりました。その経緯は、特集の座談会のページを読んでいただくとして、その協力会が発展的に「科学博物館友の会」となり、会則に「…会員相互の教養と親睦を深め、…博物館と連携しつつ…」とあるように、市民がより積極的に自然や博物館と関わり合っていける体制となりました。

このような体制の下、「友の会」ではいろいろな事業を行ってきました。その詳細は後載の「活動の記録」にあります。例を挙げれば、生きた自然に直接触れることができる自然観察会やバスツアー、自分自身の手で調べ試してみる実験・工作や科学教室等があります。また、博物館と連携し、自然科学の体験や知識を

共有して会員相互の交流を目指し、会報の発行やホームページによる発信を行ってきました。さらに年に一度の友の会スペシャルデーでは、毎年多くの会員が集まり、交流を深めてきました。このような活動の広がりによって、会員同士や博物館との連携が深まり、友の会が発展してきたことは、たいへん素晴らしいことです。

現在の私たちは、IT 機器の普及など科学技術の恩恵を大きく受けています。また、生命科学や宇宙科学等の進展によって、より高度な科学知識を得ています。しかしその一方で、生きた自然に触れたり体験する機会が急速に減少し、ややもすると私たちが自然界にあって生物の一員であることさえ忘れがちです。友の会の活動が、自然と人間との関わりを考えるきっかけにもなればと思います。

富山市科学博物館友の会は、これからまた新たな 10 年に向けて歩み始めます。これまでの活動の蓄積を基に、他の博物館等の友の会との交流も視野に入れ、友の会活動がいっそう多面的かつ多彩に発展するよう、皆さんの積極的なご提案をお願いしたいと思います。

## 10年に感謝の思いを寄せて

富山市科学博物館

館長 宮本博行



富山市科学博物館友の会の設立10周年を、心よりお祝い申し上げます。会の設立以来、日頃より当館の活動に対して様々なご協力やご助言をいただいていた会員の皆様に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

富山市科学博物館は、その活動理念に「市民の自然科学への関心と理解を深め、学習を支援し、市民生活の向上に貢献する」ことを掲げています。その理念に向かって、職員は収集保管、調査研究、展示、普及の4つを柱とする事業活動を日々行っています。

今あらためてこの活動理念を読み返してみて気づくのは、それは館が目指すべき活動の高みを指し示すと同時に、館と市民の皆さんとの関係性について語っているということです。つまり「市民の自然科学への関心と理解を深める」ことも、「学習を支援していく」ことも、私たちの一方的な博物館活動によってのみ実現できるものではなく、そこに参加する市民の皆さんがいて、参加の意欲や喜び、探求心の深まりのようなものが存在してはじめて実現できるということです。

そう考えると、今年設立10周年を迎えられ、前身

である科学文化センター協力会から続く長い歴史をもつ友の会活動の意義の大きさや、私たちの館活動と共に歩んでくださったことの有難さに、感激ひとしおの思いを抱くのです。年間を通して友の会で開催される科学教室や野外教室、そしてバスツアー。こうした活動に参加される会員の皆さんは、多くの来館者や市民の中で、一番アクティブな形で館と向き合い、歩調を合わせ、時に私たちの背中を押してこれまで歩みを導いてきてくださったのです。

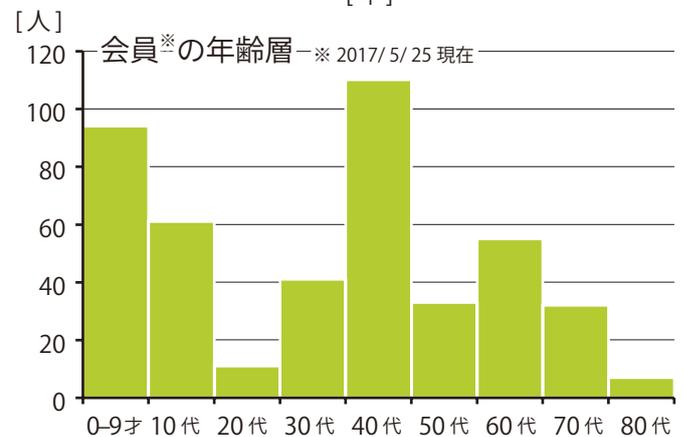
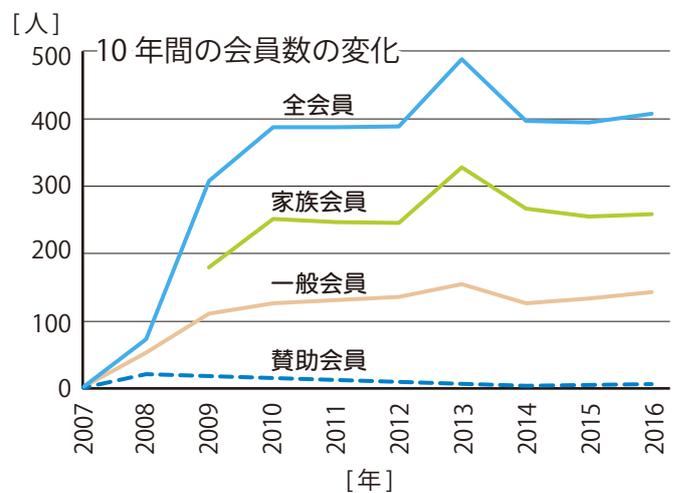
当館の学芸員はいくつかの専門分野に分かれて、自然や科学の世界の不思議さや魅力を多くの皆さんにお伝えしたいと工夫を試みる毎日です。これからも少しでもわかりやすい展示、その展示をより親しみやすくする普及活動など、友の会の皆さん、市民の皆さんに愛され続ける科学博物館を目指していきたいと考えています。そして最後に、博物館と友の会相互のアクションとリアクション、その好循環の中に、若い世代や子供たちもこれまで以上に巻き込んでいくような友の会の未来を願わずにはられません。

# 富山市科学博物館と友の会のあゆみ

- S31 1956/9** 富山市天文台が呉羽山にオープン
- S54 1979/11** 富山市科学文化センター開館(23日)
- S60 1985/5** 理工展示室リニューアル
- H2 1990/5** 入館者 100 万人達成
- H4 1992/3** 自然史展示室リニューアル
- H5 1993/3** 理工展示室リニューアル
- H9 1997/7** 天文台が富山市三熊に移転
- H11 1999/3** 理工展示室リニューアル
- H14 2002/4** 土・日・祝日の小中学生の入館料無料化  
/7 入館者 200 万人達成
- H16 2004/8** 移転後の天文台入館者 10 万人達成
- H19 2007/5** 富山市科学博物館友の会設立 (26 日; 初代会長 宮本 望)  
/7 富山市科学文化センターがリニューアルオープンして富山市科学博物館に
- H21 2009/4** 家族会員制度が開始し会員数が増加  
プラネタリウムがデジタル式にリニューアル
- H23 2011/2** 2 代目会長に牧野 弥一が就任
- H25 2013/5** 入館者 300 万人達成
- H26 2014/10** 天文台入館者 20 万人達成
- H28 2016/2** 友の会お知らせメールの開始
- H29 2017/5** 友の会設立 10 周年  
**2017/11** 設立 10 周年記念スペシャルデー



▲ 開館当初の科学文化センターと竣工式(1979年11月21日)の様子



## 賛助会員

2017/5/25 現在

高岡信用金庫富山支店  
株式会社新日本コンサルタント  
河上金物株式会社  
株式会社不二ビル  
日本エレクトロニクスサービス株式会社  
押川 たか子  
本宮 京子

## 10年継続会員 ※会員番号順・敬称略

宮本 望	小泉 敏夫
高岡信用金庫富山支店	福永 倍雄
株式会社新日本コンサルタント	篠原 マチ子
河上金物株式会社	高木 和広
日本エレクトロニクスサービス株式会社	川添 憲三
押川 たか子	大田 希生
久米 有子	小林 英俊
牧野 弥一	

※会員番号順・敬称略



## 特集・座談会

# 友の会の設立から現在までと今後の10年

**牧野 (進行役):**友の会が2007年5月26日に発足してから、明日でちょうど10年を迎えます。このような日に10周年記念座談会を開催でき、大変嬉しく思います。みなさんと色々と思いを語りながら進行していきたいと思っています。

### 10年間を振り返っての感想

**牧野:**まず、友の会発足からの10年間を振り返って、率直な感想をお願いします。

**宮本:**友の会を設立するにあたり、館の発展のために多くの皆さんに協力してほしいと思い、関係者各位に相談しましたが、どのように協力してもらえば良いか分からず困っておりました。そんな時、館が目指す「自然に対する理解や関心を持つ人を育てること」を友の会としても目的にすることにして、今日のような友の会が形作られました。以後、たくさんの活動が展開され、10年間活動が続いた成果は大きいと感じます。

**布村:**私は、色々な博物館活動に加えて、友の会があっちはじめて「立派な博物館」といえるのではないかと考えておりましたので、館の前身である科学文化センター設立当時から友の会が必要と思っていました。そして館と友の会がWin-Winの関係になったら良いと思っていました。その思いから、科学文化センターが富山市科学博物館にリニュー

アルする時、好機と考え友の会を発足させました。会長や会員の皆さんによる努力のおかげで素晴らしい活動ができるようになり、感慨ひとしおです。

**太田:**布村さんは常に「友の会を作りたい」と言っておりましたが、当初私は正直ピンと来ず、友の会というもののイメージが無いまま、昔からあった「協力会（詳しくは後述）」を友の会に変えた布村さんの姿をただ見ていました。協力会時代は館の発行物等の販売が主な目的でしたが、友の会が変わってからは会員向けの活動が増え、バスツアーで化石採取をしたいから入会するケースや、在住する県に友の会を持つ自然史系博物館がないため、本会に入会するケースもあるようで、家族会員や県外の会員が増えています。友の会の輪が広がって嬉しいです。

**牧野:**私は長年学校現場に勤めていたので、科学文化センター時代から館には頻繁に出入りしており、時には授業で利用させてもらったこともあります。そうした中で、友の会が発足すると聞き、ごく自然に入会し、いつの間にか会長まで務めることになり、私なりに色々取り組みせてもらいました。友の会という名前のごとく、会員同士が仲良く一緒に楽しむのが大事だという気持ちでやっており、それが今も続いているように感じます。振り返るとこの10年はあっという間でした。

### 友の会発足～現在の形になるまで

**牧野:**友の会が発足に至るまでの経緯を詳しくお話しいただけたらと思います。

**布村:**科学文化センター設立時から理想的な友の会を作ろうとして、規約や事業計画の案を作ったり、友の会担当の職員に先進的な友の会活動をしている各地の色々な博物館の調査に行ってもらったりしました。しかし、友の会の重要性が全職員の共通理解にならず、すぐには友の会発足に



は至りませんでした。参考までに、私がかつて勤務していた大阪市立自然史博物館の例をご紹介します。同博物館では、設立されたばかりでまだ資料も学芸員もお金も少なかった時代、これらを補助する目的で後援会ができ、やがて館の成長と共に研究会となり、大きくなって友の会、と組織が変わっていったのを見てきました。つまり市民からのボトムアップで友の会が発足したわけです。そのため、トップダウンで友の会を発足させるというのはちょっと違うのではないかと思います、タイミングを計っていました。昭和から平成に変わる頃、1) 以前からあったサークル（野草サークルなど）の活動が盛り上がってきたこと、2) 館の出版物やお土産を販売する場所が要望されていたこと、3) 当時の長井館長を中心にボランティアを養成しようという動きが起こったことをきっかけに、サークルが連合して石浦館長時代に「協力会」という形で物販を中心に活動を行うことが始まりました。その後、2007年に科学文化センターが富山市科学博物館にリニューアルするタイミングで、協力会を友の会として新たに出発させたのです。

**牧野：**サークルは大人中心の集団でしたが、友の会になってからは子どもの数が増えましたね。工作や実験をする活動を始めたことで、子どもの参加がぐっと増えたように感じます。

**宮本：**友の会は子どもが自然科学に関心を寄せることに寄与しているように思います。

**布村：**その代わりに、活動は休日開催が増えましたね。サークル時代は平日にウエイトを置いて活動していましたが。

**太田：**サークルの集まりから友の会になったことで、ある分野の知識を深めたい人だけではなく、博物館に何か貢献したいと思っていた人も入りやすくなりましたね。

## 友の会活動のねらい

**牧野：**友の会の具体的なメリットは何でしょうか。

**宮本：**個人ではやりにくいことがこの活動ではできることではないかと思います。例えば、子どもたちが遠くの博物館に行くことは親の仕事の都合などで難しい場合がありますが、友の会で企画してくれば行くことができます。また、当時の野草サークルの方が恐竜関係の博物館にバスツアーで行った時、恐竜化石と一緒に展示されていたシダ植物を見て、恐竜時代のシダの巨大さに驚いていたことがありました。このように、自分の興味ある分野以外の世界に触れることを通して見識が広がることを体験できるのは、メリットといえるのではないかと思います。



**太田：**友の会会員限定の科学教室も同じようなメリットがありますね。

**布村：**インターネットが無い時代には館の情報を郵送で直接自宅に知らせてもらえることが大きなメリットでした。

**牧野：**そうですね。今でも館の活動がよく分かることがメリットであってほしいですね。友の会の活動はバスツアーでもせいぜい40人程度しか参加枠が確保できないという制約がありますが、自然観察に出かけることは、博物館の展示物を見るのと違い、自然をその場で観察できる点で大きなメリットがあると考えています。

**布村：**友の会活動では、学芸員などの専門家に直接解説してもらったり、質問したりすることで、よく理解することができます。そして、新しい知識が増えるとこれを仲間同士で喋りたくなります。その結果共通の分野について話せる友達ができます。この一連の流れができる点も友の会のメリットだと思います。また、博物館としての活動では、お客さんを集めて県外に出かけることは難しいですが、友の会としての活動であれば融通が利く点もメリットでしょう。

## 友の会への&友の会からのリクエスト

**牧野：**では話題を変えまして、思い出深い活動について教えてください。

**太田：**印象に残っている活動は上高地（長野県）へのバスツアーです。散策中、沢の水温を片っ端から測る子どもたちがいて、2か所の沢だけ水温が5℃と、他より低くなっていることがわかりました。これは湧水のためであると解説はしましたが、水温が異なることを発見したのはその子どもたちであり、私の方が教えられた気分でした。このように、参加者全員で良い発見ができたことは印象に残っています。

**牧野：**それから、地引き網体験の様に現地集合、現地解散でおこなう活動も良いですね。特に砂金採集はこれまでに3回もしています。

**太田：**バスツアーは参加費が高いですが、現地集合、現地

解散であれば低価格でできるので喜ばれますね。

**牧野**：ちなみに、館にとって、友の会に関連した仕事は負担ではないでしょうか。

**太田**：どうしても時間と力は求められますが、例えば、バスツアーの下見のためにあちこちに出掛けることで見聞を広げられる点は、博物館活動にもつながることだと思います。資料収集や先方の学芸員との交流ができることもメリットになります。

**牧野**：今年10月にはバスツアーで大町山岳博物館を訪問しますが、その時は友の会同士が交流する時間を設ける予定です。この取り組みは今後の先進的な事例になるかもしれませんね。

続いて会報について話しましょう。現状でも大変素晴らしい会報だと思いますが、そのあたり皆さんいかがでしょう。

**太田**：友の会活動に対するリクエストアンケートなどがあってもいいかもしれませんね。また、活動に参加したら1行感想を参加者全員から集め、会報に載せたいですね。短文であっても感想をたくさん集めておくことで、新しい活動を考えるヒントにもなると思います。

**牧野**：個人的には、会員からの質問やおススメの自然観察地紹介などがあってもいいかもしれません。要するに会員参加型の紙面になれば、もっと楽しいだろうと感じています。

そのほか、友の会の事業で意見はありますか。

**太田**：役員が固定してしまっています。少しずつ新しい方に世代交代して行ってほしいですが、なかなか良い方に出会いません。

**牧野**：私は、友の会を含め、館と継続してずっと関わってくださる方の割合が減っているように感じます。もちろん、ずっ



2017年5月25日 富山市科学博物館多目的学習室にて

と熱心に関わってくださる方もいますが、子ども時代には館と関わっていたものの、社会人となり一度疎遠になり、子どもができたからまた関わるようになったという方も多く感じます。できれば、学生の時にデートで来てくれたり、子どもが独立して高齢者になっても変わらず館と関わり続けてくれたりすると嬉しいですね。

## 次の10年に向けてのメッセージ

**牧野**：今後の発展について皆さんコメントをお願いします。

**宮本**：これまで本当によく活動されているので、これからも継続して活動して欲しいです。難しいことですが、是非頑張っていたきたいと思います。

**布村**：バスツアーなどの行事に参加するだけでなく、会員が主体的に活動することにも取り組んでほしいですね。色々な知識や経験をお持ちで、友の会活動に取り組んでくださる人材はまだまだいるはずなので、活動を新聞などでアピールして、芽がある方の発掘にも積極的になってほしいと思います。

**牧野**：こういう会は、入会して良かったと思ってもらえることが大事です。バスツアーなどの受動的な活動だけでは、満足度を上げることには限界があります。そこで、館の発信する情報を受け取れること（企画展の案内や広報誌「とやまと自然」を送ってもらえることなど）をメリットと感じてもらえるよう、提供する情報の質を向上することも大事だと思います。

**太田**：友の会に入会した子どもが成長した時、例え疎遠になってしまったとしても、ふと館のことを思い出してもらえたら嬉しいですね。そのためにも、入会して良かったと思える活動を継続していくことが大事だと思います。

**布村**：子ども時代に、その子の探究心とうまく合致した体験をすると、その子はすさまじく伸びていくものです。友の会活動もそのような機会となる可能性は大きいと思います。友の会発足以前の話ですが、プラネタリウムを見たことをきっかけに天文学の道に入り、大学院まで進学した人もいます。もし当時友の会があれば、その方に対してもっとすごい体験を提供できたかもしれません。そのような観点から、友の会という集団が持つ可能性を強く感じます。

**牧野**：今も熱心な子どもはいますが、友の会が発足してまだ10年ということで、そうした子どもたちもまだ成長の途中です。これからさらに10年が経過し、その子どもたちが大人になった時、どのように成長しているかとても楽しみに思います。

本日は、長時間にわたりありがとうございました。

## 友の会事業のご案内

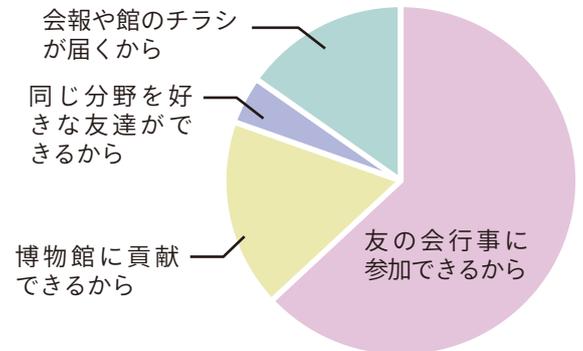
友の会では以下の事業を行っています。

友の会行事の実施
科学博物館の出版物の販売
会報の発行
ミュージアムショップの運営
会員による部会活動

イベント参加者に聞きました！

友の会に入会した理由は何ですか？

回答数 46



### 友の会行事の実施

年に10回ほど会員向けの行事を行っています。関心のある行事に参加し、気軽に自然科学を楽しむことができます。小さな子どもたちから大人まで一緒に参加できる行事が多いので、新たな視点を得ることができます。また、博物館の学芸員が講師となるので、興味・関心を深めることもできます。



#### バスツアー

日帰り近隣の自然観察や博物館見学を行う。



#### 科学教室

博物館内で工作や科学実験を行う教室。



#### 野外教室

現地集合解散で、身近な自然を楽しんだり、魅力を発見する行事。

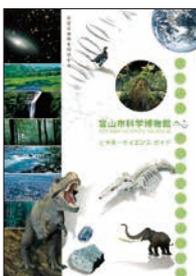


#### スペシャルデー

会員のためのスペシャルイベント。特別展の解説会など。

### 科学博物館の出版物の販売

科学博物館の展示解説書や研究報告、収蔵資料目録、読み物などを、ミュージアムショップで販売しています。取扱商品や価格については、友の会ホームページをご確認ください。



とやま・サイエンスガイド  
¥500



水と風がつくる自然  
¥400



富山市科学博物館  
研究報告  
¥500～1,000



富山市科学博物館  
収蔵資料目録  
¥100～1,000



とやまと自然  
¥100

## 会報の発行

年に10回ほど、会員向けに会報を発行しています。行事の参加募集や報告をしたり、学芸員から話題提供などをしたりしています。編集・発行は、友の会事務局が行っています。自然科学に関する気楽な読み物を目指しています。



会員に聞きました!

会報はどうか?

自分が参加できなかったイベントの様子もよく分かるから、おもしろいです。(40代・男性)

特集が面白い。(小学生・女性)

博物館の情報を知ることができます。(40代・男性)

程よく読みやすい量で、写真も多く、イベントの内容がわかりやすいです。(50代・女性)

行事に参加できなくても、会報を読むことで満足しています。(70代・女性)

低学年にもわかりやすくして欲しい。(小学生・女性)

## ミュージアムショップの運営

科学博物館のミュージアムショップを運営しています。鉱物・化石などの標本や観察・実験道具の販売やオリジナル商品の開発なども行っています。友の会会員は、商品を1割引きで購入することができます(一部商品を除く)。

### 人気商品 売上ベスト5 (2016年)

<p>No.1</p> <p>キョッキー ¥350</p>	<p>No.2</p> <p>タンブル ¥100</p>	<p>No.3</p> <p>消えないシャボン玉 ¥200</p>	<p>No.4</p> <p>折り紙 ¥300</p>	<p>No.5</p> <p>上る砂時計 ¥500</p>
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------

### オリジナル商品

<p>特別展「科学捜査展」 マグネット (2016) ※完売しました</p>	<p>企画展「みんなで調べた富山の自然」 マグネット (2016) ※完売しました</p>	<p>特別展「空気があるから」 キーホルダー (2017) ※完売しました</p>	<p>恐竜Tシャツ 120、140 サイズ 1,400円 SS～L サイズ 1600円</p>
--	---	---	---

## 部会活動

2017年現在では活動していませんが、今後、会員からの要望があれば、会員が中心となって進める部会活動を開始することができます。

# 2007

友の会活動がスタート。初年度は行事参加者が10人未満ということが多かったのですが、そのおかげで会員同士や学芸員との距離がぐっと近くなりました。

10/13	ようこそ！科学博物館友の会へ！
10/27	「発明王エジソン展」特別解説会
11/11	ミュージアム・カフェ「岩石・気象編」
11/18	デジカメで月を写そう！（参加者なし）
12/8	バスツアー「上越科学館とフォッサマグナミュージアムに行ってみよう」
12/14	ふたご座流星群を見よう！（参加者なし）
08/1/12	ミュージアム・カフェ「化石編」（参加者なし）
1/26	ミュージアム・カフェ「動物編」
2/9	ミュージアム・カフェ「理工編」
2/23	ミュージアム・カフェ「植物・プラネ編」
3/22	博物館への誘い（参加者なし） やってみよう工作教室
3/28	高校生のためのミュージアム・カフェ



ようこそ！科学博物館友の会へ！

▲ 友の会の初めてのイベント。会の概要説明や、会員と学芸員の交流を行いました。



ミュージアム・カフェ「動物編」

▲ 学芸員でミュージアム・カフェを開催。



やってみよう工作教室

▲ ゴムで飛ばす紙飛行機を作りました。



ミュージアム・カフェ「植物・プラネ編」

▲ 学芸員と気軽に話をできるのが魅力。



バスツアー「上越科学館とフォッサマグナミュージアムに行ってみよう」

▲ 上越科学館を見学。フォッサマグナミュージアムでは、友の会活動の視察も行いました。

# 2008

会員数拡大を目的に、館のボランティアや来館者にも行事に参加していただき、会のPRを行いました。会員が撮影した写真で写真展「私のとっておきの1枚」も開催しました。

8/8	友の会ハイキング「立山カルデラに入ろう！」
7/19	特別展オープニング企画「出現！トリケラトプス」
9/28	ミュージアム・カフェ
10/18	バスツアー「中谷宇吉郎雪の科学館と福井市自然史博物館」
11/8	工作教室「作って飛ばそう紙飛行機！」
12/6	ミュージアム・カフェ
09/1/26	ミュージアム・カフェ



バスツアー「中谷宇吉郎雪の科学館と福井市自然史博物館」

▲ 福井市自然史博物館の学芸員の方に展示をご案内いただきました。



写真展「私のとっておきの1枚」

▲ 会員が撮影した写真13点をロビーに掲示しました。(09/2/7～3/31まで)



友の会ハイキング「立山カルデラに入ろう！」

▲ カルデラ解説員の資格をもつ高木理事の案内で実施しました。荒々しい崩壊地の迫力と、自然の力強さに感動しました。



工作教室「作って飛ばそう紙飛行機！」

▲ 競技用の紙飛行機を作る教室。会員1名の他、来館していた親子に呼びかけ、10名が参加。



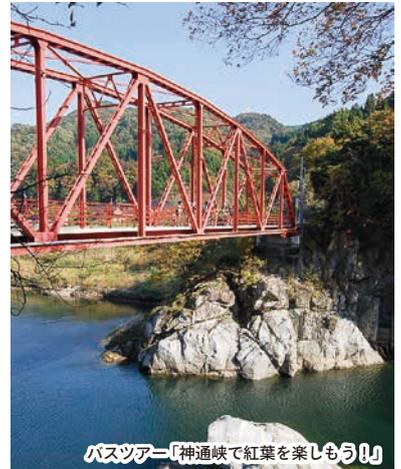
ミュージアム・カフェ

▲ 博物館の講演会「動物の進化」終了後に、ミュージアム・カフェを開催。非会員も参加され、会をPRしました。

# 2009

事業・会計年度が1月～12月の区切りとなったり、家族会員制度ができたり、年会費が1,000円になるなど、会の仕組みが大きく変わった年でした。

4/23	友の会の日「新・プラネタリウム内覧会」
5/31	工作！フクロウ笛アドバンス
6/27	工作！「作って飛ばそう紙飛行機！」
7/18	友の会の日「友の会スペシャルデー」
8/22	恐竜ミステリーツアー
8/30	化石を調べよう
9/20	ミュージアム・カフェ
10/24	バスツアー「恐竜に会いに行こう！」
11/7	バスツアー「神通峡で紅葉を楽しもう！」



バスツアー「神通峡で紅葉を楽しもう！」

神通峡周辺の自然観察会を行いました。富山市寺津周辺での散策や、滝や地層の褶曲などを観察しました。



友の会の日「新・プラネタリウム内覧会」

▲ リニューアルしたプラネタリウムの一般開放に先立ち、会員のための試写と施設の内覧会を行いました。



友の会の日「友の会スペシャルデー」



友の会の日「友の会スペシャルデー」

▲ 特別展「きた！北海道のいきものたち」に合わせて、スペシャルデーを開催。展示解説や北海道の特産品（メロン、昆布など）の試食や工作教室を行いました。

# 2010

バスツアーの人気が高く、年3回も実施しました。家族会員制度ができたことにより、この頃からどの行事にも多くの会員が参加されるようになりました。

2/13	貝化石を調査せよアドバンス
3/27	しんじ先生の実験教室「あなたの知らない輪ゴムの世界」
5/15	バスツアー「春の親海湿原と姫川源流を訪ねて」
7/4	海の味覚をサイエンス「わくわく地引き網体験」
7/17	友の会スペシャルデー
8/7	バスツアー「フォッサマグナ系魚川体験」
9/23	バスツアー「プロが案内する立山の魅力」
10/16	堪能 天文台と秋の夜空 (クマ出没・天文台臨時休館のため中止)
12/18	ピカピカ泥だんごをつくっちゃおう



バスツアー「フォッサマグナ系魚川体験」

▲ 世界ジオパークに認定された系魚川地域を訪れ、小滝川ヒスイ峡などで自然観察を行いました。

## 参加者の声

自然と人が共存している姿を見られて良かった。(70代以上・女性)

姫川源流には昔のままの風景が残っていた。もう一度行きたい。最高のバスツアーだった。(60代・男性)

## 参加者の声

植物好きの私には、白馬山麓植物園で春のかわいい花々が見られ、良かったです。(50代・女性)

景色と空気がすばらしかった。(60代・女性)



バスツアー「春の親海湿原と姫川源流を訪ねて」



バスツアー「プロが案内する立山の魅力」

▲ 立山の自然に詳しい学芸員の案内で、室堂平、地獄谷、弥陀ヶ原を散策しました。

▲ 長野県白馬村にある姫川源流と親海湿原を訪れ、自然観察会を行いました。

# 2011

工作や観察を楽しむ「科学教室」が充実したことにより、小さな子どもたちでも楽しめる行事が増えました。また、初めて宿泊を伴う行事を富山市天文台で開催しました。

3/26	科学教室「音の科学」
4/23	科学教室「シラスモンスター」
5/28	科学教室「きれいな石を探しに行こう！ヒスイ海岸」
6/11	科学教室「クジラの骨を組み立てよう」
7/16	友の会スペシャルデー「特別展解説会とクジラに関する楽しいイベント」
8/26-27	堪能！天文台と夏の星空
9/10	バスツアー「名古屋市科学館で世界最大のプラネタリウムをみよう！」
10/22	バスツアー「飛騨せせらぎ街道の紅葉と郡上八幡の清流を楽しもう！」
11/19	科学教室「紅葉の色素」
12/3	科学教室「化石レプリカ作りアドバンス」



バスツアー「飛騨せせらぎ街道の紅葉と郡上八幡の清流を楽しもう！」

## 参加者の声

大倉滝の散策は雨でしたが、とても良かったです。(50代・女性)

◀ 紅葉が美しかった岐阜県の大倉滝の前で記念写真。服の色順に並んで撮影！



堪能！天文台と夏の星空



堪能！天文台と夏の星空

▲ 天文台での1泊2日の行事。初日はバーベキューの後天文台で星空観察。その後、昆虫トラップを仕掛けてワクワクしながら寝ましたが、何も捕まりませんでした…

## 参加者の声

じっくりと自然に親しむことができた。(70代以上・男性)



科学教室「きれいな石を探しに行こう！」ヒスイ海岸

▲ ヒスイの見分け方を教わり、いざ探そぞ！

# 2012

友の会役員が講師となり、科学教室やスペシャルプラネタリウムなどを行いました。県内の河川で行った砂金採取体験は、その後2回も行う人気行事でした。

2/18	科学教室「体の中がナゼ見える？医療画像装置のしくみ」
3/4	バスツアー「空飛びわたるガン・カモ、飛行機を見に行こう！」
4/21	科学教室「日食メガネをつくろう！」
5/13	バスツアー「突撃！となりの科学館 越後松之山森の学校・キョロロ」
5/26	科学教室「知って得するみちかな薬草」
6/24	科学教室「段ボールで恐竜クラフト(3.4m)を作ろう！」
7/21	友の会スペシャルデー「特別展解説会と恐竜に関する楽しいイベント」
7/21	スペシャルプラネタリウム「アイラブお魚♡」
8/5	科学教室「挑戦！天然砂金採り体験」
9/22	科学教室「古洞でアカトンボを調べよう！」
10/6	バスツアー「増穂浦の貝がら採集とのおとじま水族館」
11/17	科学教室「化石レプリカ作り+」



バスツアー「突撃！となりの科学館 越後松之山森の学校・キョロロ」

▲ 越後松之山森の学校・キョロロ

## 参加者の声

科学館の建物が鉄の要塞のようで印象的でした。ご飯も美味しかった！さすが魚沼産コシヒカリ！！(50代・女性)



科学教室「日食メガネをつくろう！」

▲ 5/21の日食に備えて日食メガネ作り！



科学教室「挑戦！天然砂金採り体験」

▲ 身近な川で砂金が採れるなんて！

# 2013

博物館と共催で、写真展とそのギャラリートーク、科学教室、博物館まつりを行うなど、館の活動をサポートしました。

2/16	科学教室「スピーカーを作って音を鳴らそう」
5/19	科学教室「砂金採取リベンジ」
6/16	バスツアー「能登半島 UFO の町でハマグリ採取と宇宙科学を楽しもう」
6/29	科学教室「ゲンジボタルを見に行こう」
7/6	バスツアー「大自然の魅力を満喫 初夏の上高地」
7/20	友の会スペシャルデー「特別展解説会とレオナルド・ダ・ヴィンチに関する楽しいイベント」
7/28	ワークショップ「レオナルド・ダ・ヴィンチが考えた機械を作ろう！」
9/29	科学教室「岩瀬浜で貝がら採取」
10/27	バスツアー「石川県尾小屋鉱山でキラキラ鉱物採取」
11/3	科学博物館まつり
11/9	ギャラリートーク「森の息吹」
11/23	科学教室「化石レプリカ作り」



ギャラリートーク「森の息吹」

◀ いがりまさし全国巡回チャリティー写真展「みちのく森の絆」(11/9～12/1)の開催に合わせて、ギャラリートークも実施しました。



バスツアー「石川県尾小屋鉱山でキラキラ鉱物採取」

**参加者の声**

今まで自分とは関係ないと思っていた鉱物の世界を体験できた。(50代・女性)

◀ 尾小屋鉱山の跡地(ズリ)で、水晶や閃亜鉛鉱などを拾いました。



バスツアー「大自然の魅力を満喫 初夏の上高地」

**参加者の声**

解説を聞きながら歩くことで、今まで山登りのために通過していた上高地の新しい楽しみ方を知った。(60代・男性)

▶ 上高地の大正池から河童橋まで歩き、植物や地質などを観察しました。水温計測隊も大活躍!(詳しくは p4～座談会を参照)

# 2014

田んぼの生き物やアカトンボの観察など、身近な自然をテーマにした屋外での観察会を行いました。子どもたちにとっても親しみやすいテーマが人気でした。

2/23	科学教室「動く空気の不思議をさぐろう」
3/29	科学教室「コハクをみがこう！」
6/15	科学教室「田んぼの生き物を見に行こう！」
6/29	バスツアー「突撃!となりの科学館 サイエンスヒルズこまつと日本自動車博物館へ飛び出す宇宙と車がいっぱい～」
7/13	科学教室「天然の砂金を探そう！」
7/19	友の会スペシャルデー「特別展解説会とスポーツに関する楽しいイベント」
7/31	バスツアー「歴史ツアー 飛騨神岡から地球、そして宇宙へ」(訪問先の都合により中止)
9/28	バスツアー「恐竜時代へタイムトリップ in 白山市」
10/11	科学教室「アカトンボを調べよう！」



スペシャルデー「特別展解説会とスポーツに関する楽しいイベント」

▲ スペシャルデーでは、スポーツドリンクを飲み比べ。



科学教室「動く空気の不思議をさぐろう」

▲ 物理現象を子どもにもわかりやすく教えてもらえる教室は、いつも人気。



バスツアー「恐竜時代へタイムトリップ」

▲ 石川県の尾添川の河原で化石採集。

**参加者の声**

実験や工作体験がどれも楽しいです。(小学生・女性)



科学教室「田んぼの生き物を見に行こう！」



科学教室「アカトンボを調べよう！」

▲ 身近な自然を楽しめるのも友の会の魅力。

# 2015

友の会の行事では、見るだけでなく、触れる、捕まえるといった身体感覚を大切にしています。「ふれあい昆虫館」と「のど海洋ふれあいセンター」へ行き、五感で自然を楽しみました。

3/8	科学教室「展示装置をまねて作ろう！フレフレ！電気」
3/14	科学教室「コハク（コパル）をみがこう！」
5/24	バスツアー「糸魚川・フォッサマグナで大地の不思議を体験しよう」
7/4	科学教室「川の水質を調べよう」
7/5	バスツアー「石川県・白山麓で高山植物と昆虫にふれあおう！」
7/20	友の会スペシャルデー「特別展解説会と鉱物に関する楽しいイベント」
9/6	バスツアー「奥能登で磯の生きものを観察しよう」
11/28	科学教室「化石レプリカを作ろう」



バスツアー「石川県・白山麓で高山植物と昆虫にふれあおう！」



友の会スペシャルデー「特別展解説会と鉱物に関する楽しいイベント」

▲ 石川のふれあい昆虫館では、オオゴマダラの幼虫からサナギ、成虫までを触れたり観察したりしました。

▲ スペシャルデーには78名の会員が参加。鉱物・宝石がテーマだから？



バスツアー「奥能登で磯の生きものを観察しよう」

▲ のど海洋ふれあいセンター近くの磯で、生きものの採取・観察をしました。



バスツアー「糸魚川・フォッサマグナで大地の不思議を体験しよう」

▲ リニューアルオープンした糸魚川のフォッサマグナミュージアムに行きました。理解が難しいフォッサマグナも、動画でわかりやすい！

# 2016

県内の自然の魅力を再発見する野外教室をはじめましたが、大雨やクマの出没により2つの行事が中止になりました。自然との上手な付き合い方を学ぶのも会の目的の一つです。

2/20-21	科学教室「石の卵を切ってみがこう」
4/3	科学教室「展示装置をまねて作ろう 進め！リニアモーター編」
5/28	バスツアー「体感しよう！越前松島の奇景と海の生きものたち」
6/11	野外教室「世界一の星空とチャックをCheck！」
7/16	友の会スペシャルデー「特別展解説会と科学捜査体験」
7/31	野外教室「海の味覚をサイエンス！魚津で地引き網体験」（大雨により中止）
9/4	野外教室「鉱山の暮らしを知ろう！下田金山で坑道体験」（クマ出没により中止）
10/16	野外教室「身近なドングリを知ろう」
10/23	バスツアー「戸隠地質化石博物館」
11/5	科学教室「はじめての標本教室 昆虫編」



バスツアー「体感しよう！越前松島の奇景と海の生きものたち」

## 参加者の声

岩石の柱状節理をしっかりと見ることができ、水族館も楽しかったです。学芸員の方の説明もわかりやすく勉強になります。（60代・女性）

◀ 越前松島水族館のすぐ近くに、立派な柱状節理の地層がありました。

## 参加者の声

廃校になった学校を博物館に活用した例を知ることができた。（70代以上・男性）



友の会スペシャルデー「特別展解説会と科学捜査体験」

▲ 特別展「科学捜査展」にあわせて、自分の指紋採取をしました。気分は捜査官！



野外教室「身近なドングリを知ろう」

▲ ドングリがテーマ！幼児も楽しい。



バスツアー「戸隠地質化石博物館」

▲ 戸隠地質化石博物館では、多くの博物館資料とふれあいました。

# 友の会は新しい 10 年へ

## 2017-

これからの友の会では会員が主役となり、博物館や学芸員と連携しながら多様な活動を展開できるよう、2017年からまた新しいあゆみを始めています。



バスツアー「友の会ミーティング with 山博友の会  
おおまびょん登場！大町山岳博物館バスツアー」

▲ 大町山岳博物館友の会の皆さんと交流。これからの活動のヒントをたくさんもらいました。山博友の会の温かいおもてなしにも感動。



科学教室「スライムをつくろう」

▲ 楽しかったスライム作り。親子で楽しめたり、小さな子が参加できる活動が増えればよいなあ。



野外教室「海の味覚をサイエンス！  
魚津で地引き網体験」

▲ 雨の中大変でしたが、地引き網でたくさんの魚を捕まえました。個人では味わえないディープな自然体験を安全に楽しめるのが魅力。

## 入会のご案内

富山市科学博物館友の会には、以下の会員制度があります。会員の有効期限は、入会した日または更新した日の1年後が含まれる月末までです。

### 一般会員

年会費 1,000 円

- ① 富山市科学博物館で開催する特別展の1回無料観覧
- ② 常設展示・プラネタリウムおよび富山市天文台の団体料金による観覧
- ③ 「友の会」行事および部会への参加
- ④ 博物館と友の会からの諸行事の案内
- ⑤ 会報および季刊誌「とやまと自然」の配布（年4回）
- ⑥ ショップ商品の割引購入

### 賛助会員

年会費 10,000 円

- ① 富山市科学博物館招待券 10 枚の提供
- ② 「友の会」行事および部会への参加
- ③ 博物館と友の会からの諸行事の案内
- ④ 会報および季刊誌「とやまと自然」ならびに研究報告・収蔵資料目録等の配布
- ⑤ ショップ商品の割引購入

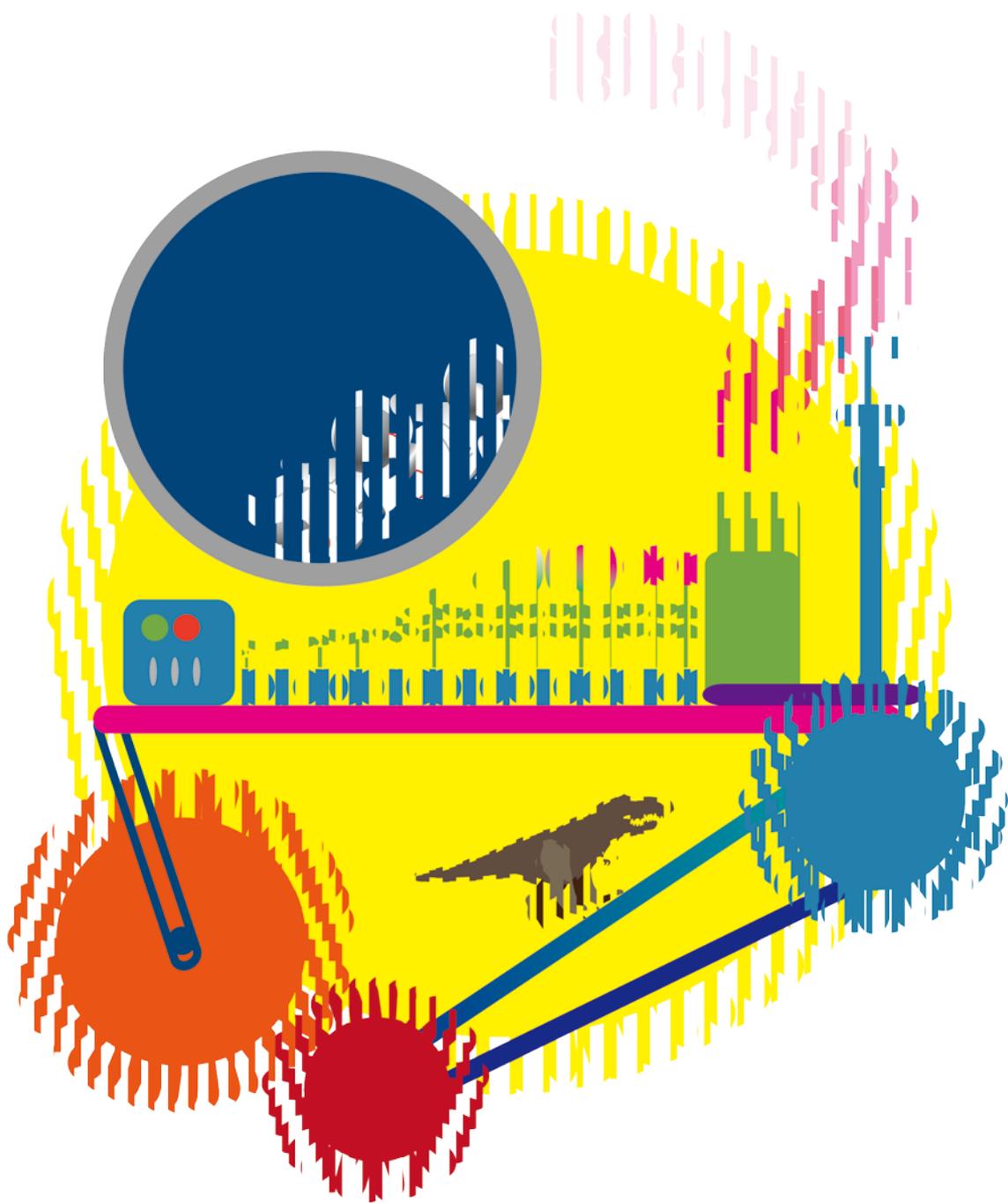
### 家族会員

個人の一般および賛助会員は、同居の家族を家族会員として無料で登録することができます。家族会員は、一般会員特典のうち②、③および⑥を受けることができます。

## 入会方法

科学博物館 1 階の総合案内で、入会のお申込みを受け付けています。

ご来館が難しい場合には、郵便局での振込みによる手続きも可能です。詳しくは事務局までお問い合わせください。



このイラストは、富山市科学博物館をイメージして作成したものです。錯覚を利用したスキャニメーションになっており、友の会特製クリアファイルにゆっくり出し入れすると、イラストが動いて見えます。クリアファイルをお持ちでない方も、富山市科学博物館友の会のホームページから画像をダウンロードし、透明の用紙に印刷して楽しむことができます。

イラスト作成 大寺優子

## 富山市科学博物館友の会設立 10 周年記念誌

発行日 平成 29 年 11 月 23 日

発行者 富山市科学博物館友の会 会長 牧野弥一

編集および問合せ先 富山市科学博物館友の会事務局

〒 939-8084 富山県富山市西中野町一丁目 8 番 31 号 富山市科学博物館内

Tel. 076-491-2123 Fax. 076-421-5950 Mail [tomonokai@tsm.toyama.toyama.jp](mailto:tomonokai@tsm.toyama.toyama.jp)

URL <http://www.tsm.toyama.toyama.jp/tomo/>

